

2024年1月31日

各位

株式会社 紀陽銀行

## 大阪芸術大学との産学連携プロジェクトの実施について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取り組みの一環として、2020年度より大阪芸術大学（学校法人塚本学院 所在地：大阪府南河内郡 理事長：塚本 邦彦）と学生のデザイン力やアイデアを地域活性化に活かす産学連携プロジェクトを実施しております。

2023年度は昨年と同様デザイン学科の授業内課題として、社内誌の表紙イラストおよびなんばスクエアで放映するデジタルサイネージ画像のデザインを学生から募集し、この度最優秀作品4作品を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連携の経緯

当行は「銀行をこえる銀行」をめざし、銀行という枠にとられないさまざまな地域活性化事業に取り組んでいます。一方、大阪芸術大学は、建学の精神にもとづき、芸術における狭義の創造性ととどまらず、科学技術・産業・交通・通信・政治・行政・その他社会活動全般にわたり創造性を推奨し、柔軟に広義の創造性を発揮できる人材の育成に力を入れています。

#### 2. 概要

連携学科	デザイン学科・グラフィックデザインコース
プロジェクト名称	紀陽銀行×大阪芸術大学 社内誌の表紙イラストの制作および「地域との価値共創」を表現したデジタルサイネージ画像の制作
プロジェクト期間	2023年11月～2024年1月
制作課題	① 紀陽銀行社内誌の表紙イラストのデザイン テーマ：夏号「夏」×「和歌山」・冬号「干支」 ② なんばスクエア <sup>(※)</sup> のデジタルサイネージのデザイン テーマ：「和歌山（名所部門・特産物部門）」×「四季」 (①、②の中からそれぞれ最優秀賞を決定)

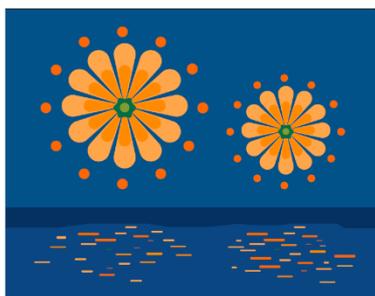
(※) なんばスクエアは、当行と地域商社「ロカリスト」が連携し、2021年6月24日に「地域との価値共創拠点」へとリニューアルした当行営業拠点であり、ロカリストが和歌山県の特産品の販売やプロモーションをおこなうことで、地域活性化に取り組んでいます。デジタルサイネージは、なんばスクエア前に設置しています。(所在地：南海なんば駅2階 中央改札口外)

### 3. 最優秀賞

#### (1) 紀陽銀行社内誌の表紙イラストのデザイン

最優秀賞を受賞したデザインは、2024年度の夏号（第198号）、冬号（第199号）に採用予定です。

<夏号最優秀賞：川村 理紗さん>



<冬号最優秀賞：櫻山 乙羽さん>



#### (2) なんばスクエアのデジタルサイネージのデザイン

最優秀賞を受賞したデザインは、なんばスクエアのデジタルサイネージで放映予定です。

<名所部門最優秀賞：青木 夏菜さん>



<特産物部門最優秀賞：小川 光太郎さん>



#### 4. 表彰式の様子



以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール4「質の高い教育をみんなに」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

